

Into the Future

(旧 ビデオ出版日本語版映像は [こちら](#))

※廃盤： 国際マイクロ写真工業社にて 制作元のご許可を戴き 2017年4月24日以降は日本語版のWEB公開を実現。 ～ デジタル情報社会に潜むデータ保存の危機 ～

制作： American Film Foundation and Sanders & Mock Production

旧 販売価格 ¥20,000 (税別) 割引価格¥18,096 (税別) 送料実費
VHS/COLOR/STEREO/33min

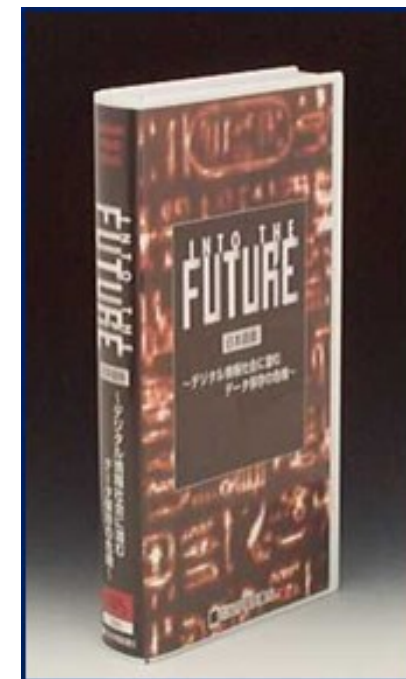
日本語版翻訳監修 : 上田修一 (慶應義塾大学)
竹内秀樹 (国立国会図書館)

日本語版翻訳協力 : (社) 日本図書館協会

日本語版制作 : (株) ポルケ

日本語版制作協力 : (株) アングル

日本語版発行 : (株) 紀伊國屋書店



“Into the Future”

～ デジタル情報社会に潜むデータ保存の危機 ～ は全米また各国の図書館を中心に大きな反響を呼んだ “Slow Fires” – 蝕まれゆく人類の知的遺産 – の続編に当たる作品です。

“Into the Future” はデジタル情報社会に隠された危機、つまりデジタル化して保存された情報、知識が永久に残されるかどうかを問題提起しています。

20年後、50年後、そして100年後の人類は、今私達の時代に電子記録された歴史やデータにアクセスすることができるでしょうか。デジタル情報技術が進歩すればする程、過去に作成保存されたデータが、古いプログラムやプログラム言語で作られているため、現在のコンピュータではすでに読めなくなってしまう状況が発生しています。

新しい物を求めるあまりに、過去の記録は未来への架け橋を失っているのです。そして、様々な記録媒体が今その機能を失いつつあるのです。

デジタル情報社会の中で今後発生すると想像される、デジタル情報の保存問題を取り上げ、前作 “Slow Fires” (発行：紀伊國屋書店) と同様、社会に警鐘を与える内容となっています。